

「二人一人が周囲に広く視野を持ち

芯の通った大人になりたい」

―決意を新たに240人が出席・平成30年南丹市成人式―

1月7日、国際交流会館で二十歳の門出を祝う成人式を挙行。スーツや振り袖、羽織はかま姿の新成人が出席し、大人としての決意を新たにしていました。また、来賓のほか、小・中学校時代の恩師も式典に出席され、新成人の前途を祝福しました。



式辞を述べる佐々木市長



記念品を受け取る瀬石玲実さん



(左から)司会を務める平井恒良さん、岡高志さん、杉田竜也さん



誓いの言葉を述べる岡健太郎さん



誓いの言葉を述べる前田明里さん

今年の成人式は、平成9年4月2日から平成10年4月1日生まれの市内在住者327人と、市内小・中学校の卒業生などの希望者を対象に挙行。

佐々木市長は、「二日一日を大切に、夢の実現のため大いに努力されるときともに、皆さんの無限の可能性に期待し、ふるさと南丹市に誇りと愛着を持ち、『住んで良かった』と思ってもらえるまちを共に築いてくださることを心から願っています」と式辞を述べ、新成人を祝福しました。

成人式実行委員の前田明里さん（まえだあかり）と岡健太郎さん（おかけんたろう）が新成人を代表し、「誓いの言葉」を述べました。前田さんは「昨年は、世界を揺るがす大きなニュースが飛び交い、また日本では、さまざまな不正問題が報道されました。しかし、他人事で片付けるのではなく、一人一人が広く視野を持って問題に向き合わなければいけない」と新成人に訴えかけました。また、岡さんは「周りの人の意見を取り入れられる柔軟性を持ちながら、他人に流されることのない芯の通った大人になりたい」と述べるとともに、「この先、不安になることがあるかもしれませんが、周りの仲間とともに確実に一歩一歩進み、お世話にな

った方や南丹市に恩返しすることを決意する」と誓いの言葉を述べました。
式典と記念写真撮影に続いて行われた懇談会では、旧友や恩師との久しぶりの再会を喜ぶとともに、近況や思い出話に花を咲かせていました。

成人式のワンショット



①



②



③



④

- ①成人式会場の様子
- ②CATVの取材に応じる新成人
- ③記念写真撮影
- ④スマートフォンを使って、旧友たちと一緒に写真撮影